

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学整形外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020 年 9 月 福島県立医科大学医学部整形外科学講座 紺野慎一

【研究課題名】無症候性狭窄が腰部脊柱管狭窄症の手術成績に与える影響に関する臨床研究

【研究期間】2020 年 9 月～2023 年 3 月

【研究の意義・目的】

腰部脊柱管狭窄の診断は問診、診察、そして単純 X 線や MRI などの画像検査を総合して行われます。その中で MRI は脊柱管の状態を評価することができる中心的な検査です。一方、症状がない健康な人でも MRI を撮像すると、ある程度の割合で狭窄が見つかります。すなわち、MRI で脊柱管の狭窄が認められても、症状には関係していない無症候性狭窄の場合も多いのです。私たちの施設では、以前から、腰部脊柱管狭窄に対して手術を行う場合に、事前に詳細な検討を行い、症状に関係している部分だけを手術するようにしています。これによって手術の範囲をできるだけ小さくして、不必要な手術を避けることができます。この方針で手術を行った結果は良好ですが、より長い期間での結果の検討が必要です。

本研究の目的は、これまでの臨床データを見直して、手術前の MRI で無症候性狭窄が認められた場合に手術成績に影響があるかどうかを明らかにすることです。そして、手術を行わなかった無症候性狭窄がどのような経過をたどるかを調査します。本研究により、無症候性狭窄が手術成績に影響を与えないことが明らかとなれば、腰部脊柱管狭窄に対する手術の範囲を決定するうえで有用な情報となり治療成績の向上が期待できます。

【研究の対象となる方】

2003 年 1 月から 2010 年 12 月の期間に腰部脊柱管狭窄で、本学附属病院で手術を受けた方。

【研究の方法】

上記対象者の術前、術後の経過観察時で評価している各種項目（医師による評価、患者さん自身による自記式質問票による評価）、あるいは、病院で保存している各種画像検査所見等を検討いたします。

【研究組織】

(所属)	(職)	(氏名)
・ 整形外科学講座	教授	紺野慎一
・ 保健科学部理学療法学科	教授	矢吹省司
・ 整形外科学講座	准教授	二階堂琢也
・ 整形外科学講座	講師	加藤欽志
・ 整形外科学講座	学内講師	小林洋
・ 医療人育成・支援センター	教授	大谷晃司
・ ふたば救急総合医療支援センター	准教授	渡邊和之

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学ふたば救急総合医療支援センター
担当 渡邊和之

電話：024-547-1276 FAX：024-548-5505
E-Mail：fortho@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学ふたば救急総合医療支援センター
担当 渡邊和之

電話：024-547-1276 FAX：024-548-5505
E-Mail：fortho@fmu.ac.jp